

科目名	作業療法評価学（精神障害）	担当教員	三浦正樹 松田竜幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	1単位	講義

科目概要	精神障害に対する作業療法評価は「援助のための理解」を目的に行われる「質的評価」が主となる。対象者の活動や参加、環境を評価する。一方、他の障害と同様に、援助の基準、内容を決めるために「量的評価」も必要である。本講義ではこれらを踏まえ、各疾患の評価の進め方、精神障害における評価の特徴、評価尺度について学習していく。
学習目標	① 精神障害領域における作業療法評価の意義について説明できる。 ② 精神障害領域における質的・量的評価の重要性が説明でき、演習を通じて臨床イメージができる。 ③ 作業療法評価計画を立案し、計画の重要性について説明できる。

回	項目	主な学習内容	学習目標	実務経験 教員担当 項目
1	精神障害作業療法の概要1	オリエンテーション 精神障害作業療法の評価および治療プログラムの考え方について	自身の体験に照らしながら評価について考察する	
2	精神障害作業療法の概要2	作業療法の流れ、作業療法評価、情報収集、各評価項目について	人的環境を中心に、物理的、制度、サービスなど精神障害の生活環境を理解する	
3	作業療法の実際	面接観察の基本知識と注意点	観察項目を列挙し、観察内容の強度・程度表現を理解する	
4	作業療法の実際	面接観察の基礎知識と注意点	観察の場面依存性・状況依存性の特性を理解した上で結果を整理する	
5	疾患別による評価	疾患別による評価観察の基本知識と注意点	各疾患の特性や注意点に合わせた、評価を理解する	
6	症例評価計画立案	模擬的に症例評価の計画を立案する	設定された条件下で模擬的な対象者に対する評価計画の立案を立てることができる	
7	症例評価計画立案	模擬的に症例評価の計画を立案する	入手した情報の整理と分析を行える	
8	まとめ	評価結果や治療目標立案を発表 評価結果の表現・視点・分析についての質疑応答	入手した情報の整理と分析を経た評価結果を発表し自分の考えを伝えることができる	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		山根 寛：精神障害と作業療法 第3版（三輪書店） 香山明美・小林正義・鶴見隆彦 編集：生活を支援する精神科作業療法-急性期から地域実践まで-（医歯薬出版）		
参考図書		標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第3版（医学書院）		
学習の準備		指定した教科書、もしくは事前に配布した資料については予習しておくこと		
オフィスアワー		第1回に説明する		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--